



もとみや 議会だより

第73号

令和5年1月発行

災害の無い1年を願って
(消防出初式)

議案審議	P.2
新年度予算編成要望を提出	P.3
一般質問10名が登壇	P.10~15

本宮市議会 ホームページアドレス <http://www.city.motomiya.lg.jp/site/gikai/>
メールアドレス gikai@city.motomiya.lg.jp



各会計補正予算など 18議案を可決

定 12 例 月 会

12月定例会（第6回本宮市議定会例会）は、条例の制定や各会計補正予算など17議案と議員から発議1件が提出され、採決を行った結果、すべての議案を原案どおり可決しました。

また、陳情1件が提出され、採択と決定しました。

一般会計補正予算（第8号）

令和4年度

3億4,694万円を増額

《主な内訳（第8号）》

歳出

消防屯所建築工事… 8,396万円
ふるさととみや応援基金積立金
…………… 3,742万円
電気自動車充電設備設置工事
…………… 3,742万円

歳入

財政調整基金繰入金… 9,318万円
消防・防災施設整備事業債
…………… 8,630万円

今議会に提出された令和4年度一般会計補正予算（第8号）の主なものは、歳出では、市消防団白沢第5分団屯所新築工事にかかる工事請負費や、ふるさと納税寄附金を積み立てるためのふるさととみや応援基金積立金、脱炭素推進事業として白沢公民館敷地内に整備する電気自動車充電設備設置にかかる工事請負費などが計上されました。

また、歳入では、地方創生臨時交付金の増額や国県補助金の増減、不足する財源に対する財政調整基金からの繰入金などが計上されました。

一般会計補正予算（第8号）

白沢第5分団屯所新築工事請負費等を計上

議案質疑

消防屯所建築工事の金額について

問 報告では、木造一部鉄骨造りで32・5坪の平屋とのことだがそれに対して予算が高額に感じるがこれは屯所の建築工事だけの予算なのか。

答 新屯所の建設のほかに、既存屯所の解体、火の見やぐらの解体、既存屯所の跡地を駐車場とするための舗装工事等の予算も入っている。

一般会計補正予算(第9号)追加議案 9億7,779万円を増額

一般会計補正予算 (第9号)追加議案

白沢公民館改修工事にかかる 経費等を計上

今議会に追加で提出された令和4年度一般会計補正予算(第9号)では、白沢公民館改修工事にかかる経費として工事請負費や委託料が計上されたほか、出産・子育て応援金並びに関連経費、ふるさと納税返礼事業にかかる経費等が計上されました。

今回の補正予算に計上された白沢公民館改修工事に関しては、当初計画時点での予算額から2億円程度増額となったため、増額の経緯等を含めて複数の議員から質疑がありました。

《主な内訳(第9号)》

歳出	
白沢公民館改修工事……	8億6,209万円
出産・子育て応援金……	2,100万円
贈呈品……	1,867万円
歳入	
教育債……	6億7,720万円
教育施設等整備事業基金繰入金 ……	2億万円

議案質疑

問 マスコミ等で市長が、白沢公民館、7億円で改修するという報道がなされた。今回の議案書になると9億円と、2億円上がっている。議員は全員協議会等で内容的なものを聞いているが、市民にしてみれば、7億円だけが走っている。それが今回の議会で9億円になったと。その原因、そこまで行ったプロセスも含めて、そういうことについて一切知らされていない。そういったことに対して、やはり市民に説明する責任というのはあるのではないかなと思うが。

答 7億円から9億円になった経過は、記者会見の際、概算金額ということで金額を出したが、はっきりとした設計額がまだ出ていなかった。その段階で、これまで公表していた7億円という形で、記者会見の数字とした。9億円という金額は、記者会見後、設計のほうから改めて概算の金額が出され、その金額である。横の連携がうまく取れていなかったということを深く反省している。

なお、このことについて、市民の皆様へのお知らせということについて、追加議案のことを、議会終了後に新聞各社などへ話をし、市民の皆様へお知らせしていきたいというふうに考えている。

問 今回の補正予算、多額であるが、これは追加ということだが、通常では9億円もの予算を追加で提案すると、これはいかなものか。災害対応や緊急を要する事業に要する経費ということであればともかく、その辺も問題を感じる。また、事業の実施に当たって、また追加で費用が出てくるのではないかと、そういう心配も懸念される。

今後においては、予算の積算等において十分な精査を行いまして、議会においても、追加ではなくて、十分調査、審議できるようなゆとりを持った提案をしてほしいと思うが。

答 議会の皆様方には、2か月前から7億円という話はしており、十分ゆとりを持って出したつもりであったが、結果、こうなってしまった。

教育局、執行部、信頼関係を持ちながらやっていかななくてはならない。そのためには、お互い共通のテーブルでしっかり議論できる情報を共有していかない限り、難しいと思っている。横の連絡だけではなくて、お互いが話を言いやすい環境をつくっていくことが大切ではないかと考えている。

この件に関しては、反省する時間をいただきながら、次につなげていきたいと思っている。今後、ご指摘をいただいた件については、しっかりと対処していかなければならぬと考えている。また、まだまだ課題は庁舎内にあると思っており、一つ一つ解決をしていかなければならないと猛省をしている。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会には、令和4年度本宮市一般会計補正予算（第8号）のほか議案3件が付託されました。
主な審議内容は、次のとおりです。



▲委員会での審議の様子

本宮市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定

説明 地方公務員法の一部を改正する法律の施行により、職員の定年を引き上げるほか、所要の改正を行う。

問 定年延長により、新規採用職員の採用数にも制限が出るのでは。

答 60歳に達する年度の前年度に、60歳以後の勤務意思等の意向確認を行い、次年度の新規採用者数を決定するなど、中長期的な視点

に立ち、年代のバランスを考慮しながら状況を注視していく。

一般会計補正予算（第8号）

説明 宅地造成奨励金事業にかかる経費を補正する。

問 宅地造成奨励金の効果検証は。

答 宅地造成奨励金の制度開始から3年が経過し、住宅建築件数の増加など事業の効果について、定住対策検討委員会からの意見などを参考に検証している。宅地造成事業者からは、定住対策事業として大変有効な制度であるとの意見があるため、制度の検証を行うとともに継続も含めて検証していく。

視察研修

研修項目

○富山県砺波市

「移住・定住推進事業について」

○石川県かほく市

「移住・定住推進事業について」

期日

○11月7日 砺波市

○11月8日 かほく市

研修結果

【富山県砺波市】

砺波市では、主に住宅取得支援や民間賃貸住宅の家賃支援等住宅支援事業が充実しており、現在は人口の社会増減が増加に転じている状況である。

また、三世代同居推進の取組である「三世代子育て応援給付金」事業は、保育所等を利用せず祖父母が孫守りを行う場合に給付金を支給し、待機児童対策の一つとするなど特徴的な取組であった。

本市においても、各種奨励金事業等で住宅促進に取り組んでいるところであるが、より一層の推進に向けて参考となる事例であると感じられた。

【石川県かほく市】

かほく市は、平成22年度から移住・定住促進に向けて取り組んでおり、平成28年から令和4

年にかけて人口増が継続しており、取り組みの効果が表れている自治体である。

かほく市では、ライフステージに応じた切れ目のない施策展開を行っており、目玉の施策である「かほく市若者マイホーム取得奨励金」は、市外からの転入者および市内在住者に対する手厚い支援内容となっている。この奨励金と民間賃貸住宅の家賃支援事業は年間計2億円強の予算規模であり、本市と人口および財政規模が同程度であるが、移住・定住に対して非常に力を入れて取り組んでおり、本市のさらなる移住・定住促進に向けた取り組みの参考となる事例であると感じられた。



▶石川県かほく市視察研修

生活福祉常任委員会

生活福祉常任委員会には、令和4年度本宮市一般会計補正予算（第8号）のほか議案2件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。



▲委員会での審議の様子

一般会計補正予算 (第8号)

説明 防災気象観測計の増設や、新型コロナウイルス感染症対策事業に係る委託料の補正を行う。

問 防災気象観測計の設置個数と場所の選定理由は。

答 今年5月に設置し、運用を開始した市独自の防災気象観測計5基に加え、今年の集中豪雨や気象状況を考慮し、新たに2基を岩根西部地区と荒井地区に設置

すること、よりきめ細かな情報収集を行いながら適切な防災対策に繋げていきたい。

問 今後の新型コロナウイルスワクチン接種の動向は。

答 現在オミクロン株対応のワクチン接種を実施しており、3回目から5回目までの接種でオミクロン株対応のワクチン接種が完了されれば、接種は終了となる。現時点では6回目以降の接種は予定されていない。

視察研修

研修項目

○兵庫県三木市
「企業連携消防団事業について」
○兵庫県明石市
「0歳児見守り訪問【おむつ定期便】事業について」
「病児・病後児保育事業について」

期日
○10月24日 三木市
○10月25日 明石市

研修結果

兵庫県三木市

全国的な消防団員数の減少、サラリーマン化を背景に三木市においても消防団員の約83%が被雇用者という現状から、大規模災害時や平日の昼間の消防力の確保のため、平成29年に企業連携消防団を発足した。企業が地域の社会貢献の一環として、消防分団を編成し、企業が所在する周辺地域かつ就業時間中に活動を限定し、地域の消防団と連携した消防活動を行うものである。

本市においても、同様の課題を抱えており、日中昼間の消防力確保のため、三木市の取り組みが今後の参考となると感じた。

兵庫県明石市

明石市では、0歳児養育家庭に対し、定期的に関わり、見守りを行うことで、育児に関する不安や悩みから誰ひとり取り残されることのないよう、早期の支援につなげていくことを目的として、0歳児の見守り訪問「おむつ定期便」を実施している。

事業の概要は保護者や赤ちゃんとお会いするきっかけとして、3,000円相当の赤ちゃん用品と赤ちゃんの健やかな成長に役立つ子育て情報誌を、生後4か月目から満1歳の誕生日まで毎月無料で配達を行い、子育て経験のある配達員が子育ての不安や悩み、心配事などがなく声をかけ、赤ちゃんの保護者の見守りを行っている。

また病児・病後児保育事業では、病気やけがの症状の進行が見られる時期または、病状の進行が止まり、治療に向かっている時期に当たり、保育所又は放課後児童クラブ等で保育が困難な児童を、病児保育施設において一時的に保育するものである。明石市では、病院併設型で、市内2か所の施設を運用しており、風邪やインフルエンザなど対象となる疾病のある児童について、保護者が勤務等により家庭で育児ができない場合に限り、専用の施設にて預かり保育を行っている。

この他にも第2子以降の保育料の完全無料化などを実施しており、手厚い支援策が明石市の人口増加に影響を与えていると感じた。



▲兵庫県三木市視察研修

産業建設常任委員会



▲県道本宮・三春線配水管布設工事箇所

産業建設常任委員会には、令和4年度本宮市一般会計補正予算（第8号）のほか議案2件が付託されました。主な審議内容は、次のとおりです。

一般会計補正予算 （第8号）

説明 農業用道水路整備事業にかかる経費を補正する。

問 事業の発注経過は。

答 今回の整備箇所は合併支援道路整備に伴い、水路整備を併せて行う必要があることから、機械借上料として計上したものである。来年の米の作付けに間に合わせるため、早期の施工を予定している。

説明 本宮駅周辺東西アークセ入完成記念事業にかかる経費を補正する。

問 式典の実施時期は。

答 西口広場は2月末の整備完了を目指して工事を進めており、式典については3月中旬頃の実施を予定している。決まり次第お知らせしたい。

水道事業会計補正予算

説明 特別損失にかかる経費を補正する。

問 過年度損益修正損の内容は。

答 消費税の確定に伴い、繰越建設改良工事の補助金に係る消費税の仕入れ控除税額を、国庫補助金へ返還するものである。

現地調査

市道大山・松沢線工事箇所、県道本宮・三春線配水管布設工事箇所、下関下地区道水路整備工事箇所の現地調査を実施した。

視察研修

研修項目

○福岡県宗像市・筑紫野市
「商業施設立地までの経過と立地時における整備等の状況について」

○福岡県田川広域水道企業団
「上水道広域化事業について」

期日

○10月26日 宗像市

○10月27日 筑紫野市・田川市

研修結果

【福岡県宗像市】

道の駅むなかたは、公設民営の施設として平成20年に開業し、現在は九州地方で上位を争う集客力、売上額を誇っている。平成25年には市が共同出資により設立した「株道の駅むなかた」を指定管理者として再出発している。

当初の想定を上回る集客により渋滞問題に悩まされたが、イベント規模の調整、駐車場の拡張により、施設内滞留を増やすことで渋滞緩和を図っている。

今後は、道の駅を市内事業者のプラットフォームとして、生産者と飲食店をつなぐ地域商社機能の充実強化を図っていく。

本市においても、集客性のあるイベントの実施や企業誘致は重要事項であり、今後の参考となる事例であった。

【福岡県筑紫野市】

筑紫野市では、商業施設立地の際、事業者による整備を基本とし、開発行為の協議段階で、道路の拡幅工事や交差点周辺の

整備を条件にしている。

また、民間企業の誘致等については、まちづくり協議会や事業者と計画段階から協議し、地区計画を策定することで、企業の受け皿づくりを行う手法により、事業所等が進出しやすい環境を整えており、多くの企業が筑紫野市へ進出している。

本市のオーダーメイド方式による誘致とは異なる手法であり、今後の参考となる事例であった。

【福岡県田川市】

田川広域水道企業団は、人口減少による料金収入の減少、管路や水道施設の老朽化に伴う更新需要の増大等の問題に対応するため、県内で初めて経営の一体化による水道広域化を実現した。

これにより、水道事業システムの統合、施設の統廃合、老朽管路の更新を行い、水道料金上昇の抑制、黒字期間の延伸に成功している。

福岡県内においても、管理業務やシステムの共同化、水質検査業務の共同委託などの検討が始まっており、今後の参考となる事例であった。



▲福岡県田川市視察研修

五百川駅整備検討特別委員会

市長へ要望書を提出

五百川駅整備検討特別委員会では、これまでの調査・研究の結果を議長に提言するため、11月21日開催の第6回委員会において提言内容について協議を行い、12月8日付で正副特別委員長から議長へ提言書を提出しました。

この提言を受け、12月12日に市長へ五百川駅整備にかかる要望書を提出しました。



▲議長から市長へ要望書を提出



◀10月7日の県要望で「県道大橋・五百川停車場線の改良整備について」井出副知事へ要望書を提出した。

五百川駅整備に関する要望書（要約）

駐停車場整備は代替整備として進められますが、短期的な課題については、駐停車場整備と併せ継続的に課題解消に努め、中長期的な課題については、社会情勢などを考慮し周辺住民をはじめとする駅利用者の意見が十分反映されることを再確認すべきとの意見でまとまった次第であります。つきましては、下記のとおり要望いたします。

記

- 1 短期的な課題である、駐停車場整備と併せ利用者の安全確保のため駅舎までの歩道及びシェルターの整備と、利便性向上のため雨及び風雪除けの待合スペース及びトイレの整備を行うこと。
- 2 駅舎等のバリアフリー化を図るなどの整備については、駅舎や改札口の位置を含めてJR東日本と協議を進めること。
- 3 県道大橋・五百川停車場線の改良整備が併せて行われる場合には、市及び県が協議の上、最小の経費で最大の効果が得られるよう進めること。
- 4 中・長期的な課題や五百川駅前広場整備計画については、社会情勢の変化や憂慮すべき事案が発生した場合、周辺住民及び駅利用者の意向に柔軟に対応すること。

本会議での討論

12月12日の本会議で、議案第101号について討論がありました。主な内容は次のとおりです。

議案第101号 本宮市一般会計補正予算（第8号）

反対討論

渡辺忠夫 議員

一つ目に、飼料資材高騰の米価下落分が回復しないなかで、農家が大変な状況にあるがその対策がない。このままでは農家を続けるのは大変だという声が強まっている。そのため、農家が再生産できる対策が求められている。

二つ目に電気自動車充電設備設置に係る工事請負費である。脱炭素推進のためと言うが、補正予算は緊急に必要な対策をするための予算と理解している。脱炭素の自治体の課題は目標を早く定めて対策することと言われている。エネルギー消費量を減らして再生エネルギーを大きく増やして化学燃料をゼロにして地域の全エネルギーを再生エネルギーに転換することである。緊急にやるべきことはその対策だと思う。設置される充電所のエネルギー供給が再生エネルギーであれば話は違うが地域内再生エネルギーの自給率を高める対策の推進を図るべきである。

賛成討論

石橋今朝夫 議員

本議案のうち、電気自動車充電設備設置工事の補正増については、電気自動車充電設備が白沢地区にないことから、電気自動車を所有する方の利便性向上ため、設置すべきであると考えます。

また、本市のゼロカーボンシティ宣言における温室効果ガス排出削減に向けた取り組みの一環でもあり、将来的に電気自動車のさらなる普及が想定される中で、充電設備の設置は、市民の電気自動車使用に対する気運の醸成につながるものと考えます。

現時点での電気自動車普及率に関わらず、長期的な視野で取り組む必要があることから、補正増を認めるべきと考え、議案に賛成するものである。

12月定例会賛否一覽

これら以外の議案等は9ページのとおり全会一致で可決されています。

会派名	みらい創和会				新風会			志誠会		共	無所属									
議員名	田谷	石橋今朝夫	磯松俊彦	渡辺由紀雄	斎藤雅彦	川名順子	根本利信	三瓶裕司	橋本善壽	菊田広嗣	渡辺忠夫	遠藤初実	馬場亨守	三瓶幹夫	菅野健治	渡辺秀雄	渡辺善元	伊藤隆一	作田博	国分勝広
議案番号	長作	朝夫	俊彦	紀雄	雅彦	順子	利信	裕司	善壽	広嗣	忠夫	初実	亨守	幹夫	健治	秀雄	善元	隆一	博	勝広
議案第101号	○	○	○	○	欠	○	欠	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（三瓶裕司）は採決には加わらない
 ※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

議決結果一覧表

議案番号	議 案 名	議決結果
議案第97号	専決処分の承認を求めることについて (専決第8号 令和4年度本宮市一般会計補正予算(第7号))	承 認
議案第98号	本宮市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第99号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	原案可決確定
議案第100号	本宮市勤労青少年ホーム条例を廃止する条例制定について	原案可決確定
議案第101号	令和4年度本宮市一般会計補正予算(第8号)	原案可決確定
議案第102号	令和4年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決確定
議案第103号	令和4年度本宮市水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決確定
議案第104号	令和4年度本宮市公共下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決確定
議案第105号	本宮市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第106号	本宮市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第107号	本宮市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第108号	本宮市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第109号	令和4年度本宮市一般会計補正予算(第9号)	原案可決確定
議案第110号	令和4年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決確定
議案第111号	令和4年度本宮市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決確定
議案第112号	令和4年度本宮市水道事業会計補正予算(第5号)	原案可決確定
議案第113号	令和4年度本宮市公共下水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決確定
発議第7号	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書	原案可決確定
	議員派遣について	決 定
	閉会中継続調査申出書(各常任委員会)	決 定

陳情一覧表

受理番号	受理年月日	付託委員会	件 名	提出者の氏名	審議結果
陳情第5号	令和4年11月16日	省 略	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情書	福島県教職員組合 中央執行委員長 瀬戸 禎子 福島県教職員組合安達支部 支部長 高橋 尚人	採 択

一般質問

市政を問う

12月定例会の一般質問は、10名の議員が登壇し、3日間にわたって行われました。

1 議員2題、内容を要約してお伝えします。

11ページ：

- 菊田広嗣 議員（志誠会）
 - ・ゼロカーボンに係る補助追加は
 - ・施策評価基準の見直しは
- 磯松俊彦 議員（みらい創和会）
 - ・市行事の日程設定について
 - ・企業進出による他地域への誘客は

12ページ：

- 三瓶幹夫 議員（無所属）
 - ・県道の未歩道改良整備は
 - ・県道の未歩道改良整備は
- 渡辺秀雄 議員（無所属）
 - ・地域公共交通見直しの課題は
 - ・市の特産品の位置付けは

13ページ：

- 作田 博 議員（無所属）
 - ・企業進出と地域道路整備計画は
 - ・農産物の販路拡大の拠点の創設は
- 馬場亨守 議員（無所属）
 - ・特別職の報酬について
 - ・シルバー人材センター育成は

14ページ：

- 遠藤初実 議員（無所属）
 - ・シティブロモーションについて
 - ・ゴミステーションについて
- 石橋今朝夫 議員（みらい創和会）
 - ・ヤングケアラー条例制定の考えは
 - ・フレイル予防対策は

15ページ：

- 川名順子 議員（新風会）
 - ・出産・子育て応援交付金の考えは
 - ・男性トイレにサンタリーBOXを
- 渡辺忠夫 議員（日本共産党）
 - ・値上げ分全額補てんを
 - ・補聴器購入に補助金制度を



▲IC付近の開発で地場産業等の活性化も

問 市の行事日程の設定において過去の日程を参考としているのか。日程設定において優先されるべき当事者についての認識は。

答 過去の日程を参考にし、参加対象の方が集まりやすい時期に開催する。行事の目的に応じた対象者が当事者であり、市民が当事者の場合市民の皆様を最優先に考えている。

問 本市への市外企業進出を市が支援して、市内企業や市民の稼ぎ、所得の向上につながるか。現在、本宮IC付近で開発計画があるが、本市地場産業へのビジネス機会拡大や、IC付近における広告宣伝による本市の他地域への誘客につながるか。

答 進出企業への就業を通じて交流人口や定住人口が増加し、そのことが経済効果をもたらす。市では所得の向上、市では税収の伸びにつながる。企業と連携してPRすることになる。現在企業が進出決定しておらず相談等は行っていない。

その他の質問

- 自主財源拡充の効果は
- 市民生活向上を目指す事業の今後は



問 市行事の日程設定について

答 当事者の皆様に最優先に考える

磯松 俊彦
議員
(みらい創和会)



問 ゼロカーボンに係る補助追加は

答 利用促進に有効だと考えている

菊田 広嗣
議員
(志誠会)

問 例えば地中熱のようなシステムは発電はしないが、節電効果も高くCO2排出量を減らす事ができる。環境への意識醸成のためにも、そのようなシステムに対して発電量ではなくCO2排出量削減率を換算した補助を出す考えは。

答 発電能力を単位とした補助が一般的であったが、設備の導入によってどのくらいのCO2の削減に貢献しているかで考える。削減率換算方式もある。こういったものを用いるのも非常に有効であると考えている。

問 施策評価基準の見直しは

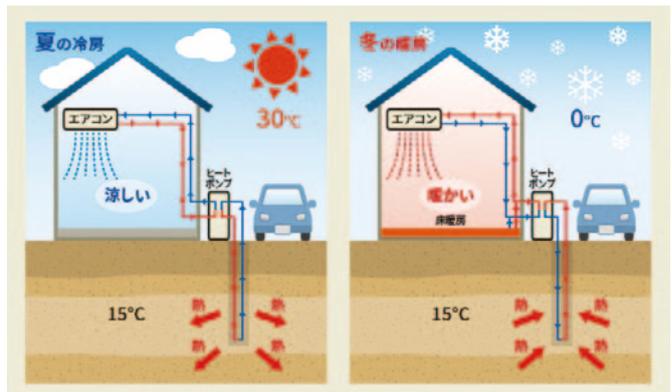
答 事業目的と効果を明確化していく

問 成果報告書はどれだけ目標に近付いたか、施策評価は判断するための数値の基準が適正であるかどうか非常に重要だと考える。施策評価や決算成果報告書など、今後どのようにしていくべきと考えているのか。

答 実態に沿った評価方法の確立が必要と考える。現在、来年度の評価に向けて評価指数、目標値の設定見直しも含めて適正な評価方法を検討している。事業目的と効果を明確化していくことを職員が意識共有を図りながら進めることが重要。

その他の質問

- ゼロカーボンシティ実現に向けての方策について
- 手法が目的化してしまっている事業はないか



▲CO2排出削減率による補助金を



▲危険な道路の早期改良を



問 県道の未歩道改良整備は

答 移動建設事務所に要望している

三瓶 幹夫
議員
(無所属)

問 本宮・三春線東笹田
地内、狭隘で歩道未設置
のため早期改良を求めた
経緯がある。町村合併支
援道路の計画により現在
も工事中。令和5年度に
供用開始と聞いている。
合併支援道路工事後後
には、東笹田地内危険な
道路改良を求める。

答 東笹田地内S字カー
ブ、笹田池までの区間5
00メートル歩道未整
備、毎年移動建設事務所
へ要望している。過去の
車両事故事例を聞いた。
令和3年度の通学路の交
通安全プログラム点検で
糠沢小学校から整備の要
望を受けている。

問 本宮・岩代線礼堂地
内、交通量の多い路線で
あり幅員が狭く、危険な
道路である。朝の通勤通
学時間帯は、交通量が多
く本宮高校通学路であ
る。改良の進まない原因
は何なのか。改良が図ら
れるよう県議会議員へ強
く働きかけを求める。

答 交通量が多く危険と
いうことで、約1キロ
メートルの歩道整備を県
に要望しているが、進ん
でない現状である。白
沢地区で12箇所歩道整備
を県土木部並びに関係す
る方々に、市の熱意を伝
えて早期に改良整備に努
めている。

その他の質問

- ・東日本台風による一級河川改修について
- ・安達管内医療環境について



問 地域公共交通見直しの課題は

答 負担の差が大きくなり検討が必要

渡辺 秀雄
議員
(無所属)

問 地域公共交通計画を
策定し、今年度からス
タートしたが、定額タク
シーの試行運行を9月末
から来年3月末まで延長
したのはどうしてか。ま
た、大字地区について
も、同等のサービスの提
供の必要性を感じるがど
うなのか。

答 今後増加が見込まれ
る利用に対して、現状の
タクシー台数で対応が可
能かどうか、また、利用
者の声、要望を整理して
見直しをする必要があっ
た。大字地区までとなる
と同等の負担割合ではテ
マンドタクシーとの差が
大きくなり、検討が必要
である。

問 市の特産品の位置付けは

答 どうやっていくか検討が必要

問 特産品とは市民が製
造に関わっているもので、
常によその人に勧められ
る物と思われるが、特産
品という基準はなにか。
本市のふるさと納税の返
礼品はビールが断トツと
聞く、現在の支援には課
題も多く、見直しの必要
性を感じるが見解は。

答 市の特産品の基準等
は特に設けていない。ふ
るさと納税は今年度初め
て1億円を越すかもしれ
ない。地元の産品をどう
やっていくか、どうやっ
たらよく発信できるの
か、もう一度考えてみる
必要があるかもしれない。

その他の質問

- ・企業等の誘致の取り組みについて
- ・敬老会の開催について



▲全域同等のサービスが望まれているが



▲シルバー人材センター事務費は適正か

問 本宮市特別職報酬等審議会の開催状況について伺う。審議会の構成は、公募委員の採用はあるのか。また、三役の退職金について伺う。

答 4年程度の間隔で令和3年度に開催した。審議委員は10名で公募委員については3名選考している。市長の退職金について、119万円、副市長が97.4万円、教育長が46.3万円である。人口に関わらず三役が負っている責任は非常に重い。

問 補助団体であるセンター事務費の割合が多いと感じるが見解は。本宮市800万円、国800万円、1600万円収入になる。一人当たり8万円になる。

答 それぞれの団体の特性や規模の特性があるため、事務費の割合が多いという判断にはなっていない。



問 特別職の報酬について

答 市特別職報酬等審議会開催

馬場 亨守
議員
(無所属)



問 企業進出と地域道路整備計画は

答 測量設計の中で検討する

作田 博
議員
(無所属)

問 高速道路の出入口と国道4号線までの距離が短い過去にもしばしば交通渋滞があった。地域環境整備、特に道路整備計画は大変重要な課題と認識する。企業や道路管理者、警察との協議が必要ではないか。

答 インターからの交通渋滞が予想されるので測量設計の中で十分検討する。本市と同じような環境のところを視察した中で、参考にしながら進めていく。企業が決まったら個々の状況の中でしっかりと対策を練っていく。

問 農産物の販路拡大の拠点の創設は

答 企業立地が決まった場合要請する

問 ウクライナとロシアの戦争の影響による肥料等の高騰で、来年度からの作付けが大変苦しく、地産産業の活性化が必要である。そのための販路拡大、販売の拠点を誘致企業の一角に取り入れてもらえるよう働きかけるなどの支援策、拠点の創設は。

答 企業立地が決まったから相談しながら要請していきたい。市がどのような形で販路を作っていくか調査の指示をした。安定して供給できるための市場調査、生産調査など進めるための知恵を出していきたい。

その他の質問

- ・市道館ノ越・関根線の拡幅は
- ・坊屋敷5号線の舗装と拡幅の見直しは



▲市道館ノ越・関根線未改修部の拡幅を



▲市独自のポータルサイト



問 シティプロモーションについて

答 転入と社会動態人口の増

問 視察研修先の石川県かほく市の人口減少を止めるために行っている全国PRで参考になる点があった。その成果で目標が100%達成した。本宮市でもいろいろなプロジェクトを行っているが、現在の進捗状況を伺う。

答 首都圏の移住定住相談会のPR。オンライン広告や市独自のポータルサイトや各種SNS等のPR、その他ガイドブックやチラシの配布を実施。今年度も人口は横ばいだが、社会動態人口は増加している。

問 立体箱型とネットかけなどのゴミステーションの差があるが、本宮市のイメージ向上から考えて市の行政指導はできないのか。カラスの被害も多く、近所の方などがボランティアでゴミ整理を行っている。市のほうで把握しているか。

答 市内493箇所、多い順にじか置き、ネットかけ、箱型である。地元で場所・形態・方法を協議して、地域の中のルールを決めて、自主性を重んじている。困りごとなどの相談には、丁寧に対応する。

問 ゴミステーションについて

答 地域の自主性を重んじながら

遠藤 初実
議員
(無所属)



問 ヤングケアラー条例制定の考えは

答 国・県の支援策も含め検討を進める

石橋今朝夫
議員
(みらい創和会)

問 子どもが家族の介護を担うケアラー支援に向けた動きが本格化してきたが、まだまだ遅れており、ケアラーの可能性があまりないよう助けが必要ない場合すぐに支援できるようにするため条例の制定の考えはあるか。

答 現行の相談支援体制の中でケアラーの把握を含め、孤立させない必要な支援に結びつける。県ではヤングケアラーの実態調査を実施しており、結果が今後公表される。そうした情報を踏まえて国、県の支援策も含め今後検討を進めていく。

問 フレイル予防対策は

答 出前講座で予防指導を行っている

問 新型コロナウイルスの感染拡大が長期化する中で、外出が減り、家で過ごす時間が長くなり、筋力の低下を招き、要介護状態になる寸前のフレイルが心配となり、コロナ禍で健康を維持するには食生活と運動が鍵。フレイルの予防対策はあるのか。

答 フレイル予防の3つのポイントである食事の改善と口腔ケア、身体活動、社会活動に視点を置き、啓発並びに事業を展開し、高齢者の元氣パワーアップ講座や包括支援センターとの連携、ふれあいサロン等出前講座を実施し、指導に取り組んでいる。

その他の質問

- ・新規就農者の現状は



▲ヤングケアラーの把握・支援のために条例制定を

その他の質問

- ・児童・生徒のマスク着用で暑い日の校庭での運動や学校の行き帰りも着用では、健康面で不安では



▲高齢者の補聴器購入に補助を

問 諸資材、物価高騰で容易でない農家の支援について何う。今年の肥料など値上げは大変である。去年の倍になった、やっていけない、田んぼなどを返すしかないなど大変な事態であり、値上がりした分全額補填する支援を願うものであるが見解を伺う。

答 市としては、7月から10月までに独自支援として農業生産高騰対策支援金を、水稻農家や果樹農家、畜産農家などに支援した。合計891名で4,167万円を支援した。上昇分については今後状況を見ながら考えていきたい。

問 補聴器購入費助成に補聴器購入費助成に質問した。厚労省の高齢難聴者の存在把握の調査結果が公表され、認知症の要因として難聴が指摘された。市でも検査をし、その制度を確立することが福祉に役立つと思いうが見解を伺う。

答 前回は質問頂いた一般に75歳以上では半数の方が聞こえづらい状況である。また難聴の実態は把握していないが検診には聴力検査がない。検査は重要であり、まずは医療機関の検査をお勧めするということを図っていく。

その他の質問

・学校給食費の無料化について第二子以降は



問 値上げ分全額補てんを

答 上昇分全てについては今後考えたい

渡辺 忠夫
議員
(日本共産党)

問 日本の少子高齢化は7年前倒しで進み、核家族化で地域との繋がりが希薄化。未就園児が約6割に上り0歳から2歳児までは経済的支援が手薄であり、児童虐待の死亡事例の半数を占める。政府の新事業、伴走型相談支援が非常に大切であるが。

答 妊娠届時、妊娠8ヶ月前後、乳幼児全戸訪問を継続し、この制度・施策を進めながら並行していく必要がある。子育て支援事業の周知を強化し、赤ちゃんを育てる両親にどうサービス提供できるか、少子化に効果を表せるか目標をもってやる。



問 出産・子育て応援交付金の考えは
答 今回は現金給付で速やかに給付

川名 順子
議員
(新風会)

問 男性トイレにサニタリーBOXを
答 すべてのトイレに設置を完了する

問 男性トイレのサニタリーボックス設置に関するアンケートでは、尿もれパットやおむつなどを使用したときサニタリーボックスがなくて困るとの回答があり、トイレに流して詰まらせたりすることがある。安心して外出できる環境整備を。

答 必需品であるので、公共施設には安全・安心・快適にご利用いただけるように、すべてのトイレに設置を完了するよう進めていく。

その他の質問

- ・肺炎球菌ワクチンを回数制限なく助成は
- ・带状疱疹ワクチンの助成を



▲出産・子育ての経済的支援充実を

市長へ新年度予算編成要望書を提出

令和元年東日本台風災害や令和3年2月発生地震の影響により、市民を取り巻く環境は大きく変化し、市政に与える影響が懸念される所であり、そのような中、感染症対策と地域経済対策を両立し、より効率的・効果的な財政運営を遂行することは、市民の信頼と理解を得る上で大変重要であることから、市議会として12月7日に市長へ令和5年度予算編成に対する要望書を提出しました。要望事項の一部を紹介します。



総務文教常任委員会

- ・職員自身の健康管理およびワークライフバランスの推進に努めること。
- ・定住促進奨励金制度及び宅地造成奨励金事業の継続・拡充を図るとともに、効果的な移住・定住対策の推進に努めること。
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を図るため、状況分析や情報収集など推進に向けて取り組むこと。
- ・小学校のトイレの洋式化改修工事を計画的に実施すること。

生活福祉常任委員会

- ・生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、専門保健技師が保健指導を行い、被保険者の健康促進を図ること。
- ・家庭・学校・地域において子どもと高齢者の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止に努めること。
- ・「健やかに元気に暮らせるまち」と目指し、市民ニーズを捉えた第3次本宮市健康増進・食育推進計画を策定すること。
- ・子育て環境の充実を図るため、地域で活動する団体の支援や、子育て家庭の多様なニーズに対応した事業を実施すること。

産業建設常任委員会

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者に対して、事業継続のための支援を行うこと。
- ・遊休農地対策事業を推進すること。
- ・空き家等対策計画の策定にあたっては、調査結果を十分に踏まえ、より実効的な計画を策定し、施策を進めること。
- ・五百川駅周辺の整備事業の促進を図ること。

あとかき

あけましておめでとございます。卯年、穏やかで笑顔あふれる一年にと誰もが願われたことでしょうか。昨年は、ロシアのウクライナ侵攻で原油の高騰による物価・食料品の値上がりや新型コロナウイルス第8波襲来で、行動制限はなかったものの、様々な業種に深刻な影響を与え、家庭生活にも大きな打撃となりました。しかし、4年に一度開催されるサッカーW杯カタール大会、日本の活躍が感動と勇気・希望を与えてくれました。最後まで粘り強く日本人の魂と誇りを持って世界で戦えることを示してくれました。ブラボー！

本年こそ新型コロナウイルス感染症の早期終息により日常が一刻も早く平常回復することを願うものです。

また、広報広聴委員会では議会だよりを一人でも多くの皆さんに読んでいただけるよう編集発行してまいりますのでどうぞよろしくお願いたします。

(根本)

次回3月議会定例会は
3月6日に開会予定です。
請願・陳情の締め切りは
2月21日(16時まで)です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。
問い合わせ TEL 24-5435

発行責任者 三瓶 裕司
議長 齋藤 雅彦
副議長 石橋 今朝夫
委員 磯松 俊彦
委員 根本 利信
委員 菊田 広嗣
委員 三瓶 幹夫
委員 国分 勝広
委員 渡辺 善元

発行

本宮市議会

編集

広報広聴委員会

〒969-1192

福島県本宮市本宮字万世212

TEL (0243) 24-5435
FAX (0243) 34-5567